

## 三島地区体育連合のあゆみ

### 1 大阪府体育連合の結成

終戦間もない昭和22年(1947)5月に、大阪府内の都市が一体となり、府民の意気の高揚と、府民の中に「とけこむスポーツ」の普及振興を願い、府下各都市に体育協会を結成して地域の社会体育の発展を目的とする、大阪都市体育連合(現、大阪府体育連合)が結成されました。

そして同年に第1回大阪都市対抗総合体育大会(陸上競技、野球、相撲、ソフトボールの4種目)が開催されました。以来現在まで、大会の名称は変わったものの、毎年開催され、大阪府体育連合と大阪府総合体育大会(旧、大阪都市対抗総合体育会)は密接な関係を保ち続けております。

### 2 地区大会の創設

しかし昭和40年代中ごろから、開閉会式における各市町村の不参加が目立ちはじめ、そのうえ選手も試合にのみ行けばよいとの考えが強くなり、大会趣旨である府民の親睦をはかるという面が忘れられてきました。

さらに、大阪府体育協会傘下の各種目別団体も充実し各自で大会を開くようになり、当時の都市対抗総合体育大会をどう発展させることがよいのか、と大会の見直しが行われました。

そこで、各地区における体育組織を強化充実させ、各市町村の認識と親睦を深め、多くの人々の参加を目指すために、地区大会(兼中央大会予選)と中央大会に分けて開催する方

式が、昭和48年(1973)の第27回大阪都市対抗総合体育大会より始まりました。この時の中央大会は12種目19種別、予選を兼ねた地区大会は8種目16種別でした。

### 3 三島地区体育連合の創設

従来、この地区大会の開催にあたっては、三島地区の体育協会と教育委員会が協議し種目を分担して運営されてきました。このような経過により地区大会が始まりましたが、三島地区体育協会のなかに、三島地区大会が地区住民のスポーツ要求を反映して、より良い大会運営ができるよう、併せて4市1町対抗駅伝競走大会の開催についても、より充実するため、4市1町の体育協会の連合の必要性が強く感じられました。

その結果、昭和51年(1976)に三島地区体育連合の形態ができあがり、翌52年(1977)4月26日に三島府民センターにて、三島地区体育連合の発会式を行い、初代会長に尾高榮次氏(吹田市)が就任されました。

### 4 三島地区体育連合の発展

この三島地区体育連合は、府下で最初の地区連合体として年々その主体性を高めるとともに、組織、行事を充実、発展させ府下的にも高い評価を受けながら、昭和61年(1986)に10周年を迎えました。6月の記念式典終了後、尾高会長が勇退され、2代目会長に大友康亘氏(茨木市)が就任。ますます組織の結束力が強まるとともに、地区大会ははじめ数年毎の中央大会の運営もスムーズに行われ、府下全体

に連合体の素晴らしさを知らしめております。また、競技面では4市1町が互いに切磋琢磨して競技力の向上につとめ、平成元年(1989)の第13回三島地区総合体育大会より「総合優勝」制を取り入れました。

平成8年(1996)にはゲートボール、平成28年(2016)には、ゴルフ、グラウンドゴルフが加わり、今日の三島地区大会の種目数は14種目31種別となっています。

### 5 三島地区駅伝競走大会

三島地区における駅伝競走大会は、昭和22年(1947)に第1回4市1町駅伝競走大会が開催

され、以後、毎年各市町にて会場持回りで開催されてきましたが、昭和52年(1977)の第31回大会より万博記念公園(周回コース)に定着いたしました。

また、昭和60年(1985)より、大会名称を明確にすることから、三島地区駅伝競走大会と変更しました。平成18年(2006)にはジュニアの部を創設しています。

大阪府市町村対抗駅伝より歴史あるこの駅伝大会は、平成27年度(2015)に第70回を迎えました。今大会は記念大会として位置づけ、「混合の部」「エンジョイマラソンの部」の新設や、ゲストランナー・ゆるキャラを招聘するなど、盛大に開催されました。

#### ■主な出来事

年度	大会	駅伝	備考	年度	大会	駅伝	備考
昭和52年	1	32	尾高会長就任	平成10年	22	53	
昭和53年	2	33		平成11年	23	54	
昭和54年	3	34		平成12年	24	55	
昭和55年	4	35		平成13年	25	56	
昭和56年	5	36		平成14年	26	57	
昭和57年	6	37		平成15年	27	58	
昭和58年	7	38		平成16年	28	59	
昭和59年	8	39		平成17年	29	60	
昭和60年	9	40	三島地区駅伝競走大会	平成18年	30	61	駅伝ジュニアの部創設
昭和61年	10	41	10周年。大友会長就任	平成19年	31	62	30周年事業
昭和62年	11	42		平成20年	32	63	森川会長就任
昭和63年	12	43		平成21年	33	64	
平成元年	13	44	総合優勝制の導入	平成22年	34	65	
平成2年	14	45		平成23年	35	66	
平成3年	15	46		平成24年	36	67	信田会長就任
平成4年	16	47		平成25年	37	68	
平成5年	17	48		平成26年	38	69	久間会長就任
平成6年	18	49		平成27年	39	70	駅伝70回記念大会
平成7年	19	50		平成28年	40	-	コ・キ・グ・ラ・ケン・コ・キ・グ・ラ・ケン
平成8年	20	51	ゲートボール加わる	平成29年	41	-	40周年事業
平成9年	21	52					